

【内水ハザードマップにかかる Q&A について】

Q1：内水ハザードマップとは何ですか

Q2：洪水ハザードマップと内水ハザードマップの違いは何ですか

Q3：なぜ内水ハザードマップが必要なのですか

Q4：内水浸水想定区域図作成の諸条件は？

Q5：内水浸水想定区域の範囲外（着色されていない場所）は安全ですか

Q6：過去に浸水実績のあった場所が、着色されていないのはなぜですか

Q1：内水ハザードマップとは何ですか

A1

内水ハザードマップは、大雨が降った場合に、この降雨を下水道に排水しきることができずに発生する浸水について、その想定される浸水の範囲と深さを内水浸水想定区域として表示し、マップに反映したものです。

このマップは、市民の皆様の日頃からの備えや大雨時の適切な避難行動をとっていただくために作成したものです。

Q2：内水ハザードマップと洪水ハザードマップの違いは何ですか

A2

洪水ハザードマップは、梅雨前線や台風など長時間続く大雨により、猪名川などの河川堤防の決壊や越水などの理由により引き起こされる浸水区域を想定しているものです。

一方、内水ハザードマップでは、短時間強雨等により下水道の排水能力が追い付かず、雨水が地表にあふれて引き起こされる浸水区域を想定しているものです。

Q3：なぜ内水ハザードマップが必要なのですか

A3

下水道の整備を進めていますが、近年では下水道の能力を超える雨が降ることが多く、下水道の整備だけでは対応しきれません。そこで川西市では、想定し得る最大規模の大雨が降った際の地域の水害に対する危険性をお知らせし、市民の皆様が避難等の対策を講じていただけるように、内水浸水の危険性がある区域等を記載した内水ハザードマップを作成、公表しております。

Q4：内水浸水想定区域図作成の諸条件は？

A4

内水浸水想定区域は、川西市の下水道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨（1時間降水量147mm、概ね1000年に1度以下の確率で発生する降雨）により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

本シミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。すべての管きょや側溝に対し、それぞれの排水能力を個別に評価しているものではないほか、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水、河川の水位を考慮したものではないため、詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。本シミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深・浸水継続時間が実際とは異なる場合があります。落ち葉や土砂による雨水ます、側溝、水路の詰まり等により起きる浸水は、シミュレーションでは反映しきれないため、実際の浸水状況が異なる場合があります。

Q5：内水浸水想定区域の範囲外（着色されていない場所）は安全ですか

A5

内水ハザードマップは、あくまでも想定であり、目安です。

シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深・浸水継続時間が実際とは異なる場合があります。

また、落ち葉や土砂による雨水ます、側溝、水路の詰まり等により起きる浸水は、シミュレーションでは反映しきれないため、注意してください。

Q6：過去に浸水実績のあった場所が、着色されていないのはなぜですか

A6

この内水浸水想定区域等は、川西市の下水道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（1時間降水量147mm）により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

河川水の越水や逆流による浸水、道路側溝の詰まりによる浸水などはシミュレーションでは反映しきれないため、浸水実績と着色されている場所が異なる場合があります。